

農業に特化し、地域の活性化も担う、 進化型就労継続支援事業所。



1 2 果樹の栽培、収穫、加工までを手がける。規格外品でも直売できるルートを持っていることも強み。高齢化で廃園予定だった果樹園を引き継ぐなど、地域農業の支援にもひと役買っている 3 新たな取り組みとして醸造ぶどう栽培を手がけ、2022年からワインを委託製造、販売している

県内トップクラスの農福連携事業。

働くこと、学ぶこと、関わることを大切に地域とともに農業の振興と活性化を目指してきたピアファームは、県内でもトップクラスの農業と福祉の連携を実践しています。就労支援B型事業としての設立は2008年で、2011年にはあわら市の認定農業者となり園芸の規模拡大や観光ぶどう園の創業に着手しました。現在は約6.3万平方メートルの耕作地で梨やぶどう、りんご、野菜などを栽培・加工・販売し、障がいなどを持ったメンバーの就労体制を確立しています。日本全体の問題でもある農業の担い手不足も補いながら、年々増える果樹栽培の廃業もフォロー。「おいしい以上」の価値がある果樹栽培として注目を集めています。

さりげないサポートでいきいきと働ける。

ピアファームでは、障がいのある人がいきいきと働ける環境づくりと地域農業の賑わいの創造を目標としてきました。福祉の現場が初めてのスタッフでも安心して働けるように就労継続支援の社外研修やOJTはもちろん、気温や湿度で日々変わる果樹の世話などを先輩スタッフがきめ細かく指導しています。また、問題を一人で抱え込まないように毎日朝と夕方にミーティングを行って情報共有するほか、仕事と生活のバランスがとれるように勤務日なども話し合っています。

新しい価値観が次々と生まれる現代において、今後日本の大きな課題となる福祉と農業の課題を解決するための新しい一歩となるような経験ができる場所です。

教えて！
ピアファーム

で働く先輩

Q どんな仕事をしていますか？

A 私の仕事は農業と、スタッフの支援およびマネジメントの2つの大きな柱があり、担当はぶどうや梨などの果樹部門です。敷地内には17種・約700本の梨と25種・約120本のぶどうの木があり、それぞれの手入れをしながらメンバーに毎朝仕事を割り振り、サポートしています。以前は製造業の設計や営業をしていましたが、自然や土に触れ、身体を動かして働けることに感謝しています。

Q 「入社して良かった!」と感じるのはどんな時？

A 以前は自分の作業だけをしていれば良かったのですが、今の職場はみんなが気持ちよく仕事できるように配慮することを大切にしています。障がいや多様な課題を持つメンバーと一緒に働いて、彼らのひたむきな姿に感動させられることも多々あり、「働くことで社会に参加しつながる」という日々の幸せに気がつきました。



永善 大造さん
坂井市出身
勤務3年
農園管理担当
職業指導員

みました。

聞いて

気になること、

Q 仕事にはどんな人を求めていますか？

A 障がいを持ったメンバーの工賃を向上させることを目指しています。そのため果樹栽培とともに、相手の立場に立ち、何が必要か考えて前向きに取り組める人を求めています。

Q 就活中の皆さんにメッセージをお願いします。

A 当社の仕事は福祉、果樹栽培、農業、販売、観光とさまざまな職種の経験ができる仕事です。日々のさまざまな変化に対応しながら、自分の得意な分野を伸ばしていきましょう。



理事長
林 博文さん

こんな職場です

その人のペースを見て
伴走しながら支援する。



障がいを持つメンバーが自分のペースでいきいきと働けるよう、スタッフ間の情報共有と連携は密にしています。また、農業などのデータ化にも力を入れています。



NPO法人 ピアファーム

〒910-4277 あわら市波松68-87-2
TEL.0776-79-1830 FAX.0776-79-1831
http://peerfarm.jp/ info@peerfarm.jp

設立:2008年/代表:林 博文/従業員数:28人/平均年齢:45歳/勤務地:同上/勤務時間 8:30~17:20/福利厚生:社保完備、退職制度あり

中学生
職場体験
受入れ企業

インターン
受入れ企業

公式WEBサイト

